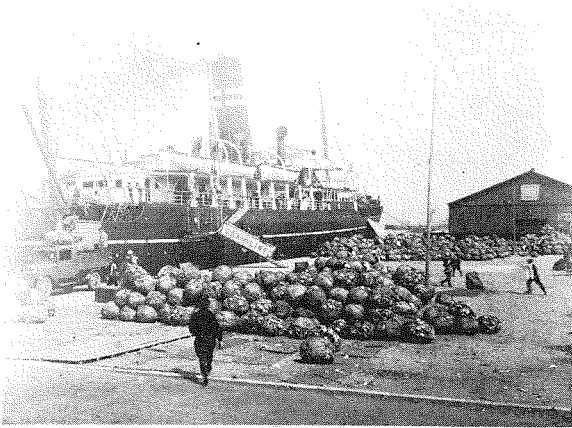


神戸港修築工事

内務省神戸土木出張所

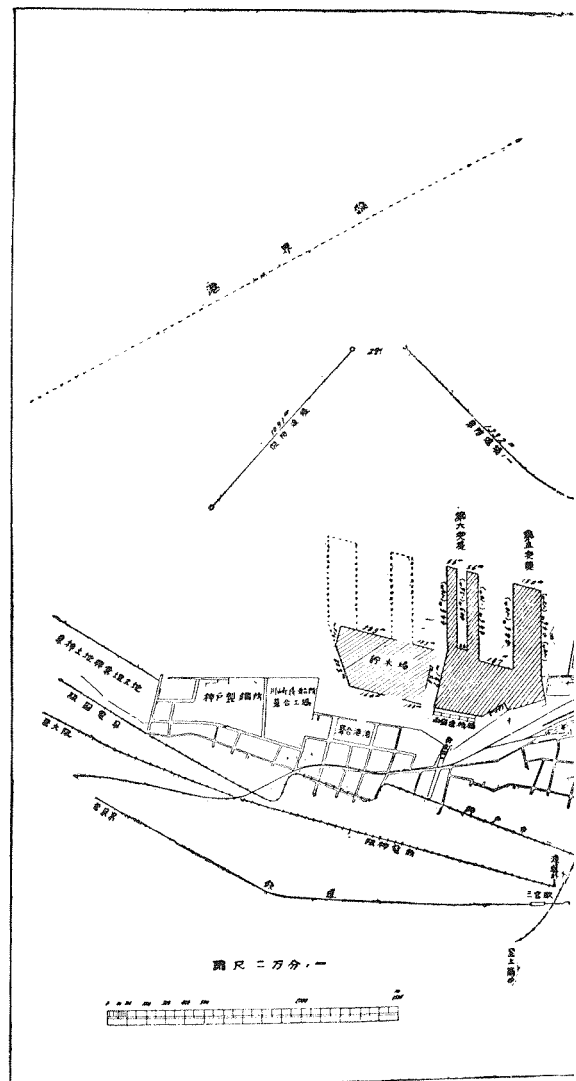


(1) 内國貿易役備、兵庫第一突堤の野菜荷役状況。

(2) 同上兵庫第一突堤のI上屋、充滿せる穀物を示す。



(3) 神戸港修築工事平面圖。



神戸港築工事は大正八年度より昭和12年度に至る19個年間の継続事業で、既に大部分の工事を終り、内國及び外國貿易設備が盛んに利用せられつゝある。

工事の大要を記すと、岸壁の築造は水深5.5米乃至12米の繫船突堤5條で此延長5,769米、物揚場延長5,083米、防波堤延長5,632米、浚渫1,230,000立米、埋立8,231,000立米、貯木場1個所132,000平米等で、これ等は既に90%の竣工を示してゐる。

工事中設備の主なるものを挙げると、鐵筋コンクリート函製造設備として柱橋函臺5個塔型電動起重機1臺、L字型浮船渠1臺等あり、此他自航脚筒式浚渫船2隻、振揚式浚渫船5隻、鋤鏈式浚渫船1隻、20噸起重機船が2隻、130噸級以下の曳船小蒸汽船10餘隻が動いてゐる。

因に本工事は内務省神戸土木出張所の直營工事である。

神戸港修築工事平面圖

